

鹿児島市感染症情報

発行元:鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉>健康・医療>流行疾患、感染症>感染症の発生状況

本感染症情報は、医師が患者を診断をした場合に必ず最寄りの保健所へ届出を行わなければならない感染症（以下、「全数把握対象疾病」といいます。）の届出状況を示すもので、四半期毎に統計を行っております。

なお、市内の指定された医療機関のみ報告義務がある感染症（インフルエンザ、感染性胃腸炎（おう吐下痢症）、水痘（みずぼうそう）等で、「定点把握対象疾病」といいます。）の発生状況は、週ごと又は月ごとに統計を行い、毎週又は毎月、市ホームページ（ホームページ掲載は上記と同様です。）で公表しています。

●全数把握対象疾病の届出状況（医師が患者を診断した場合、届出義務がある疾病）

類型	感染症名	届出数
一類感染症	届出はありません	
二類感染症	結核	27
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7
四類感染症	重症熱性血小板減少症候群	1
	レジオネラ症	4
	レプトスピラ症	3
五類感染症	ウイルス性肝炎	2
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	6
	急性脳炎	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
	後天性免疫不全症候群	3
	梅毒	27
破傷風	1	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症 (7月1日~9月19日)	78,631

※上記の【全数把握対象疾病の届出状況】には令和4年7月1日(金)から9月30日(金)までに届出があった全数把握対象疾病のみを掲載しております。

※新型コロナウイルス感染症は全数把握の見直しに伴い、7月1日(金)から9月19日(月)までの届出数を掲載しています

全数把握対象疾病の届出状況をグラフで表します。
本感染症情報のグラフで届出状況を示す感染症は次のとおりです。

● **三類感染症**

腸管出血性大腸菌感染症

● **四類感染症**

重症熱性血小板減少症候群、レジオネラ症、レプトスピラ症

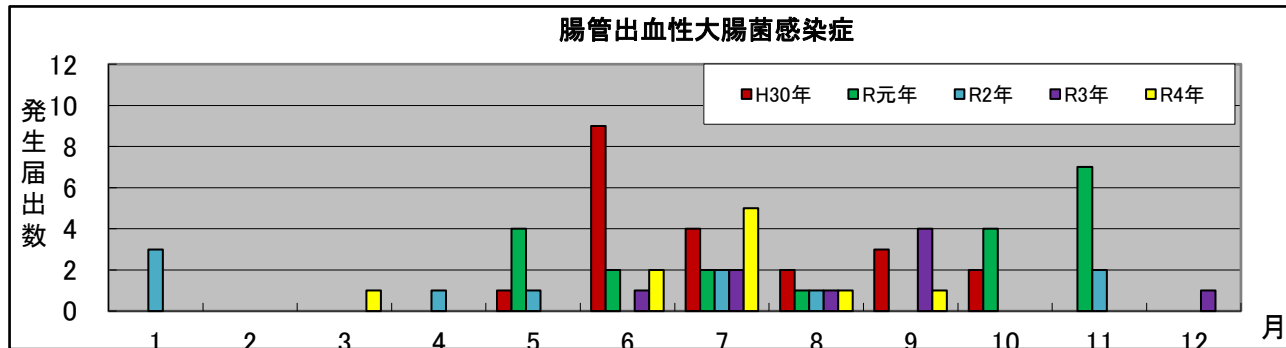
● **五類感染症**

ウイルス性肝炎、カルバペネム耐性腸内細菌感染症、急性脳炎、クロイツフェルト・ヤコブ病
劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、梅毒、破傷風

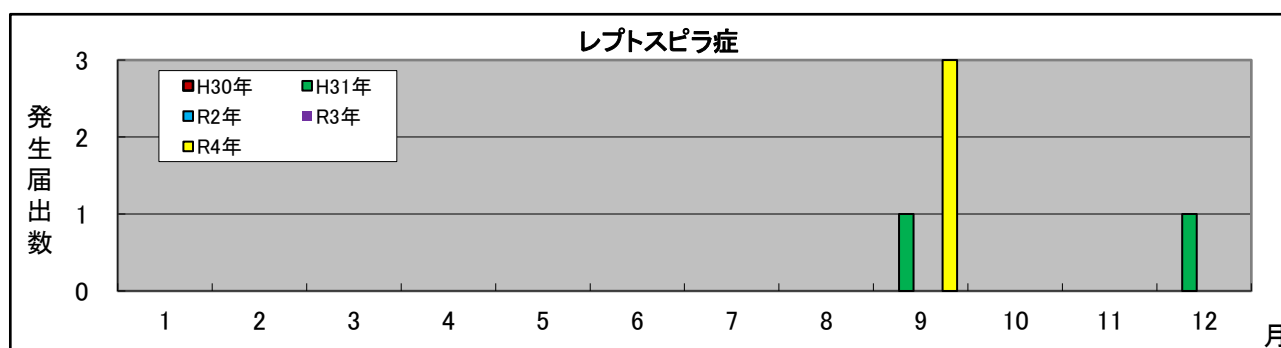
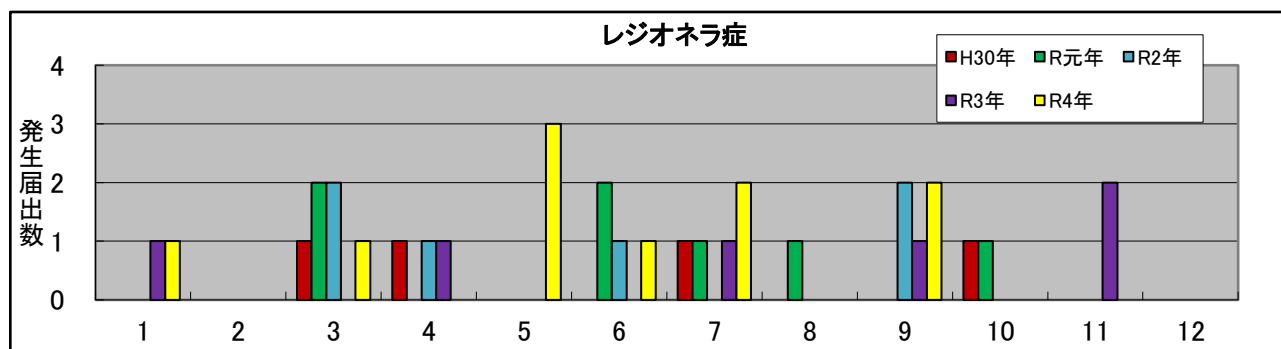
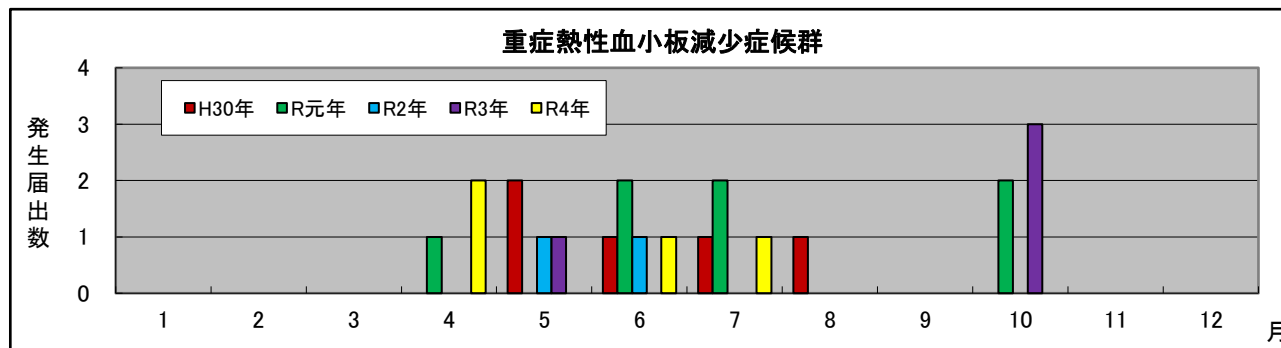
● **新型インフルエンザ等感染症**

新型コロナウイルス感染症

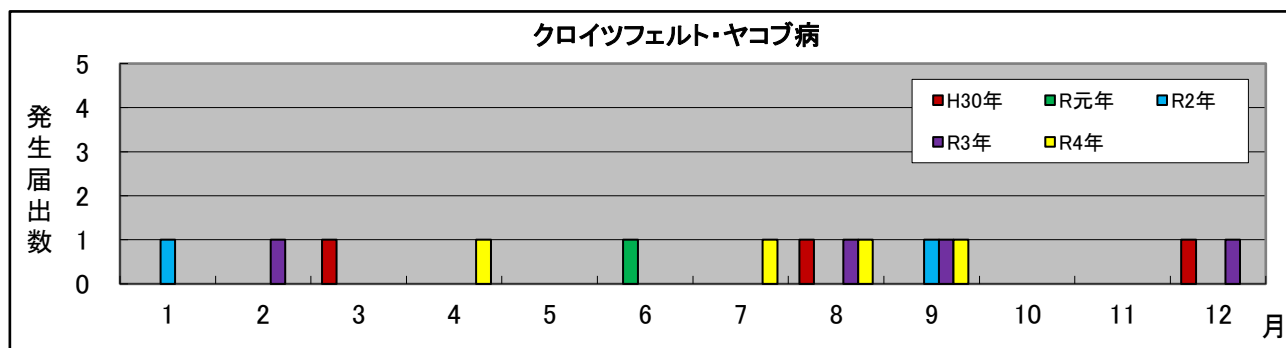
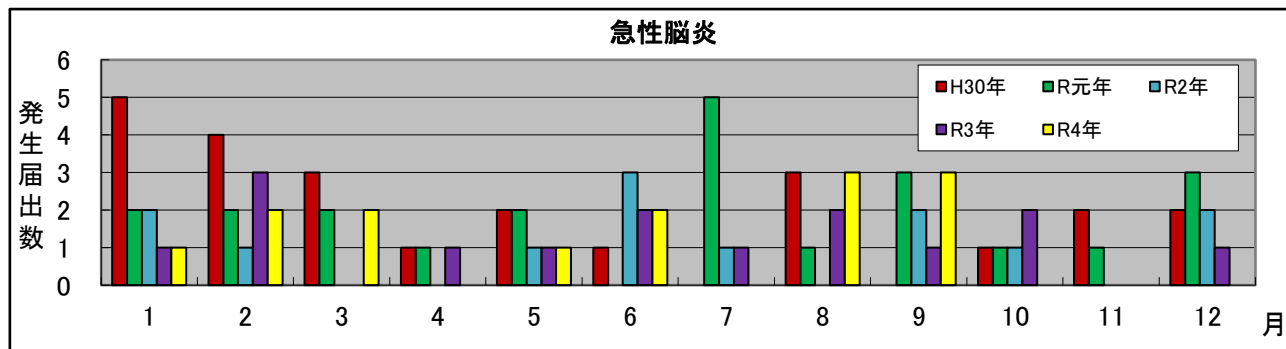
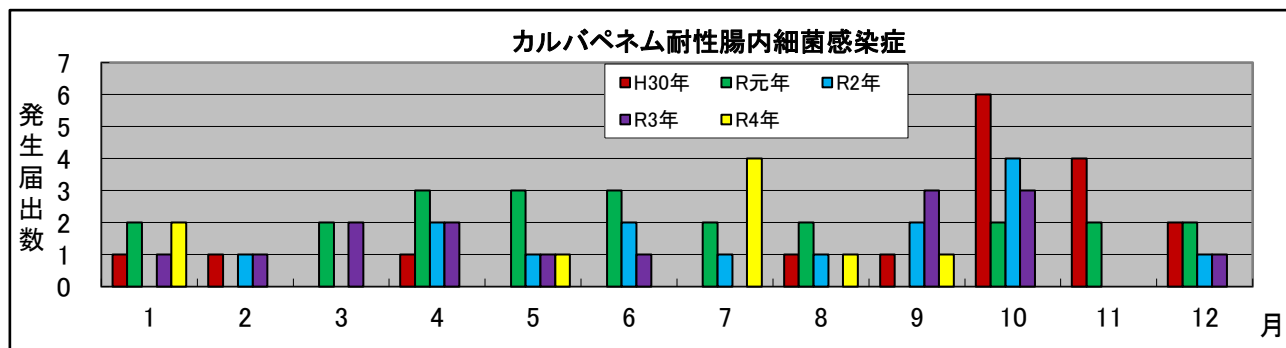
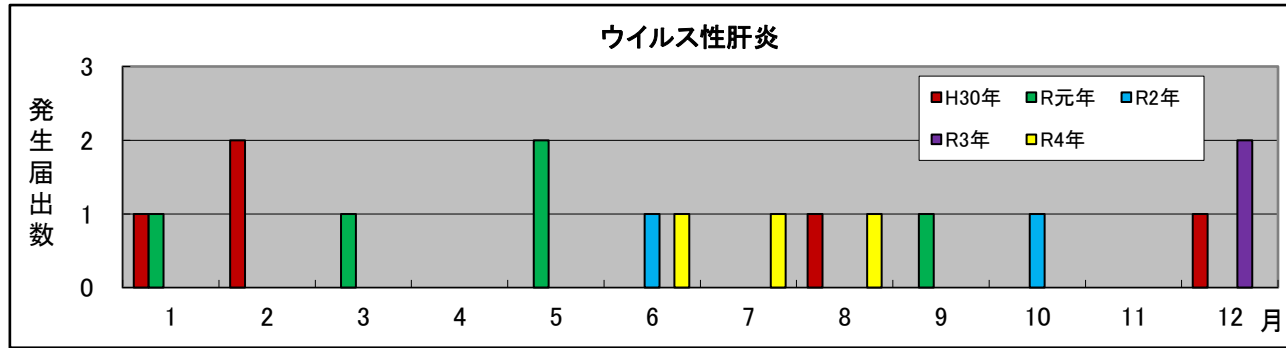
●三類感染症の届出状況

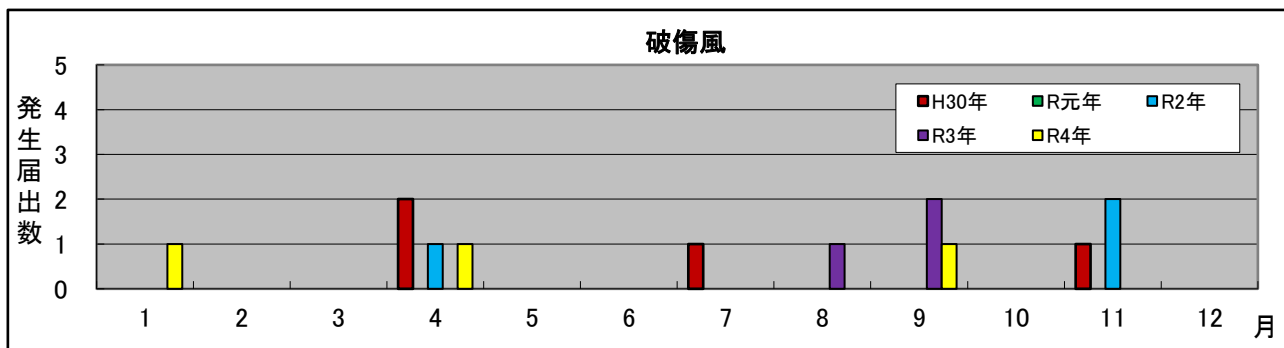
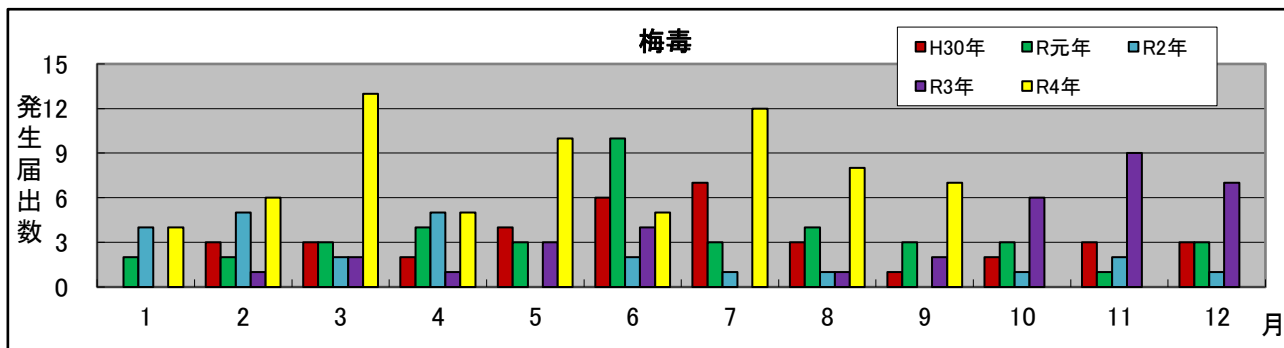
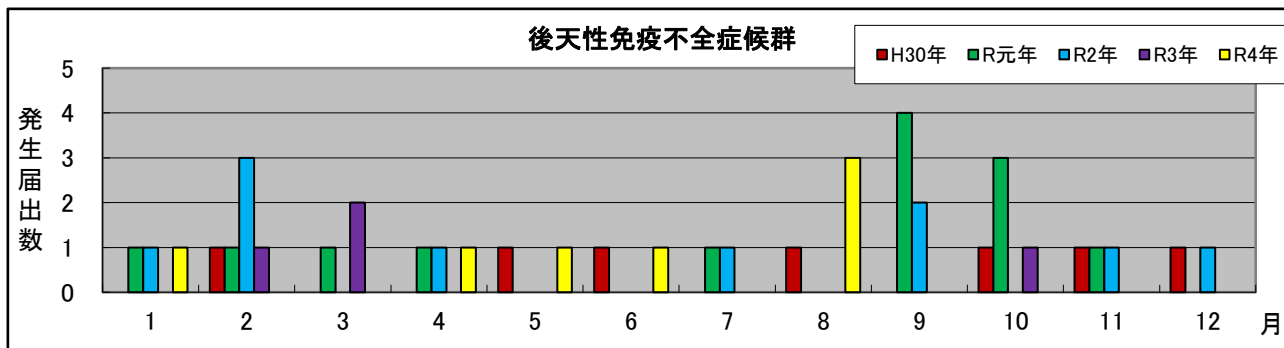
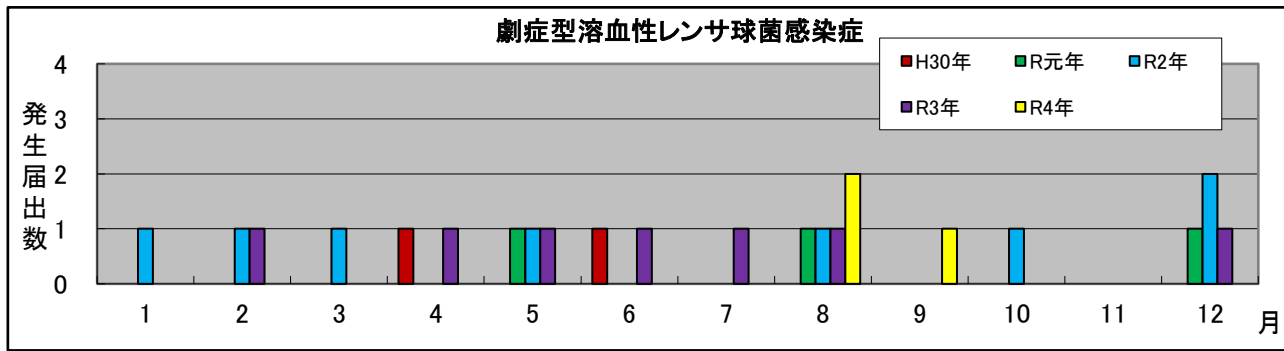


●四類感染症の届出状況

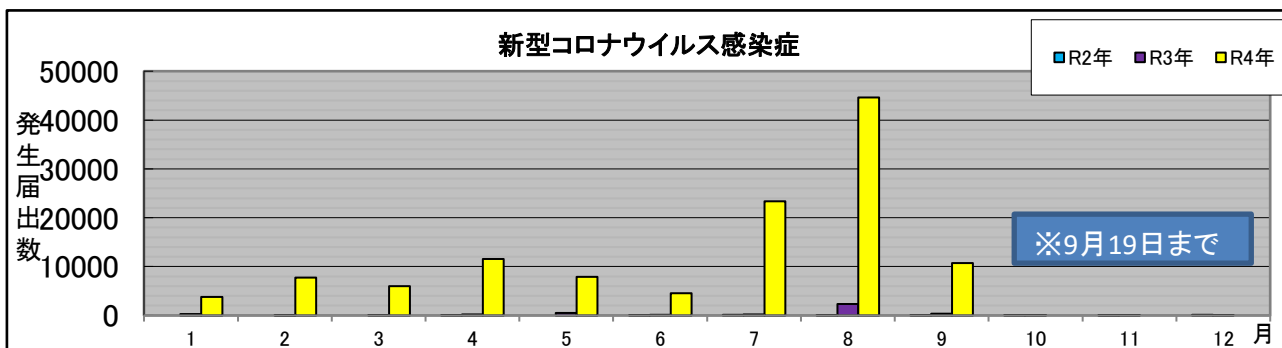


●五類感染症の届出状況





● 指定感染症の届出状況



●全数把握対象疾病の一覧表

以下の一覧表に掲載する感染症は、全数把握対象疾病です。
下線が引かれている感染症については、2～4ページで届出状況のグラフを掲載しています。

類型	感染症の名称
一類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう(天然痘)、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二类感染症	急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MARSコロナウイルスであるものに限る。)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三类感染症	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四类感染症	E型肝炎、ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類感染症	アメーバ赤痢、 <u>ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)</u> 、カルバペネム耐性腸内細菌感染症、急性弛緩性麻痺、急性脳炎(<u>ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)</u> 、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、 <u>新型コロナウイルス感染症</u>